商品名: 一本締液剤

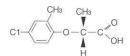
種 類 名 : メコプロップPカリウム塩液剤

有効成分: メコプロップPカリウム塩・・・・・・56.5%

(R)-2-(4-クロロ-o-トリルオキシ)プロピオン酸カリウム

〔(R)-2-(4-クロロ-o-トリルオキシ)プロピオン酸として48.0%〕

構造式:



状: 褐色澄明水溶性液体

安全性

1. 人畜毒性 : 普通物(毒劇物に該当しない物を指していう通称)

急性経口毒性

ラット LD50(オ・早)500~2,000mg/kg

急性経皮毒性

ラット LD50(み)約4,000mg/kg·(半)>4,000mg/kg

眼一次刺激性

ウサギ (原液)強い刺激性あり (400倍液)刺激性なし

ウサギ (原液)刺激性あり (400倍液)刺激性なし

*印は本剤およびメコプロップPカリウムを含む農薬の総使用回数

皮ふ感作性

モルモット 感作性なし

2. 魚毒性:

コイ LC50 (96hr)>1,000mg/L オオミジンコ EC50 (48hr)>1,000mg/L 藻類 ErC50(72hr)>1,000mg/l

適用雑草と使用方法

・中心平利ののウェブロップ、ガラブなどもの歴史の順度所回数							
作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量/10a		使用方法	総使用
				薬量(ml)	希釈水量(ℓ)	使用方法	回数*
日本芝		一年生及び	春夏期 雑草生育期	200~500	200	雑草茎葉散布	3回以内
西洋芝 (ブルーグラス)	-		秋冬期 雑草生育期	250~500	200		
樹木等	公園、堤とう、 庭園、運動場、 道路、駐車場、 宅地、のり面、 鉄道等	多年生広葉雑草	雑草生育期 (草丈30㎝以下)	350~700	100~200	植栽地を除く 樹木等の周辺 地に雑草茎葉 散布	

↑ 効果・薬害等の注意

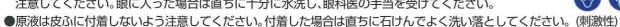
- ●生育期の広葉雑草に有効なので、雑草の発生後茎葉に均一に散布してください。
- ●散布直後の降雨は効果を減ずるので、天候を見極めてから散布してください。
- ●低温時(10℃以下)の散布は、効果が劣ることがあるので、使用をさけてください。
- ●本剤使用により、芝に黄変などの薬害を生じることもありますが、やがて回復し、その後の生育に影響は見られていません。
- ●重複散布をすると薬害を生じるおそれがあるので、重複散布をさけてください。
- ●有用植物が付近にある場合は、かからないよう注意して散布してください。
- ●使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係 機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意

- ●誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてくだ さい。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- さい。使用中に身体に乗用を感じに物口に物口には促進しています。 ●原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう 注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。



12409R22.08M3.000



- ●散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、手足、顔などを石けんでよく 洗い、うがいをしてください。
- ●公園、堤とう等で使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に、小児や、使用に関係のない者が散布区域 に立ち入らないよう、縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 保管:密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼な場所に保管してください。

空ビンは圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

販売元



株式会社ニッソーグリーン

東京都台東区上野3-1-2(秋葉原新高第一生命ビル5F) Tel.03-5816-4351 http://www.ns-green.com/

本 社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1

IPPONJIME

農林水産省登録 第22169号



芝用茎葉処理型除草剤



難防除雑草のスギナ、チドメグサに 生育期の広葉雑草に高い効果 も 優 n た効果を発揮 ま

1_ℓ×10_本



🙆 株式会社ニッソーグリーン

IPPONJIME

一本締液剤は、メコプロップ (MCPP) の活性本体である光学異性体メコプロップPのみを含有するもので、生育期の広葉雑草に優れた効果を示す茎葉処理タイプのホルモン型芝用除草剤です。

特長

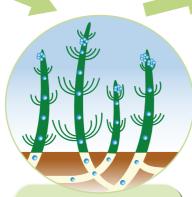
- ✓ 広葉雑草及びスギナに優れた茎葉処理効果
 - 生育初期から生育期の広葉雑草やスギナに優れた効果を示します。
 - **2** 広い散布適期幅 生育期の雑草が対象の散布適期幅が広い薬剤です。初春から晩秋まで散布できます。
 - 3 雑草全体を枯死させる 植物全体の移行性に優れ、地上部・根部の全体を枯殺します。
- 4 芝生に対する選択性 コウライシバ・ノシバ・ブルーグラスに対して高い選択性が確認されています。
 - **5** 空容器の処分問題を軽減 慣行薬剤と比較して少ない薬量で効果がありますので、空容器の処分量を大幅に軽減できます。
 - **環境への負荷が少ない** 人畜毒性は普通物で、土壌中では速やかに水と二酸化炭素まで分解するので、環境に対する 影響が少ないといえます。

作用機作

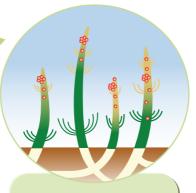
本剤の作用機作は2,4-DやMCPなどのフェノキシ系除草剤と同様なホルモン型 (オーキシン型) 吸収移行です。 現在まで解明されている点は次の通りです。



雑草に茎葉処理された本 剤は、その茎葉部より速やか に植物体内に吸収されます。



吸収された本剤は、植物体内を移行し、地上部・根部の細胞分裂の盛んな組織に集まります。



内生ホルモン(オーキシン) の正常な働きを撹乱し、異常 分裂伸長を引き起こします。 その結果、葉が黄化して光合 成能力が低下して枯死に至ら しめます。

| 殺草スペクトラム

(日植調委託試験及び社内試験から)

○:効果高い○:効果あり△:効果不十分×:効果なし

		一本締液剤		
		0.25ml/m²	0.375ml/m²	0.5m@/m²
	オオアレチノギク	0	0	0
	アレチノギク	0	0	0
	ヒメムカシヨモギ	O	0	0
	ハルジオン	0	0~0	0
	ヒメジョオン	0~0	0~0	0
	ノゲシ	0~0	0	0
	ノボロギク	0	0	0
キク科	オニタビラコ	0	0	0
	ブタクサ	0	0	0
	ハハコグサ	0	0	0
	チチコグサ	0	0	0
	ウラジロチチコグサ	0	0	0
	タンポポ	Ö	0~0	0
	コセンダングサ	0		0
	ブタナ	0	0~0	0
	シロツメクサ	0	0	0
	カラスノエンドウ	0	0	0
マメ科	スズメノエンドウ	0		0
	ヤハズソウ	△~()	0~0	0~0
オオバコ科	オオバコ	0	0	0
	オオイヌノフグリ	0	0	0
ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ	O	0	0
シソ科	ホトケノザ	0	0	0
カタバミ科	カタバミ	Δ	Δ	Δ~()
	ナズナ	0~0	0	0
アブラナ科	タネツケバナ		0	0
	スカシタゴボウ	Ö	0	0
	イヌタデ	0	0	0
タデ科	ヒメスイバ		0	0
	ツメクサ	0	0	0
	オランダミミナグサ	0	0	0
ナデシコ科	ノミノフスマ	0	0	0
	ハコベ	0	0	0
ヒユ科	アオビユ	0	0	0
,	チドメグサ	0	0	0
セリ科	ノチドメ		O	0
	オオチドメ	\triangle	0	0
スベリヒユ科	スベリヒユ		0	0
トウダイグサ科	コニシキソウ	Δ	△~○	0~0
	カヤツリグサ	0	0	0
l leavel to " to see	コゴメカヤツリ	0	0	0
カヤツリグサ科	ヒメクグ			O
	ハマスゲ	×	\triangle	Δ
ツユクサ科	イポクサ	0	0	0
トクサ科	スギナ	0	0	0
サクラソウ科	コナスビ	0	0	0
アカバナ科	アレチマツヨイグサ	0	0	0
ムラサキ科	キュウリグサ	0	0	0
アカザ科	シロザ	0	0	0
ノルンです	ノロッ			

【土壌中の消長

土壌中では速やかに水と二酸化炭素まで分解する、環境に対して負荷の少ない薬剤です。

土壌中半減期(圃場):約2~3.5日

日本植物調節剤研究協会茨城土壌(火山灰軽埴土)	約2日	
大阪府農林技術センター土壌(砂壌土)	約3.5日	

| 周辺樹木に対する影響|

本剤の散布液が、周辺樹木の茎葉部にかかった場合には 強い薬害症状がありますので、散布の際に飛散しないよう注 意してください。

※散布液を樹木の茎葉部に直接散布

	薬量0.5ml/m²※	薬量1.0ml/m²※
コノテガシワ (ヒノキ科)	強	強
サツキ (ツツジ科)	強	強
ツツジ (ツツジ科)	強	強
カナメモチ (バラ科)	強	強
サンゴジュ(スイカズラ科)	強	強

試験場所:日本曹達(株)小田原研究所



